



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

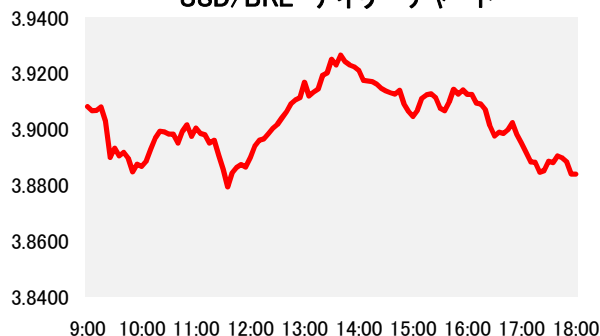
			8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月13日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7530	3.7720	3.8010	3.8640	3.8840	+0.0200
	BRL/JPY	Spot	29.680	29.420	29.22	28.70	28.50	-0.20
	EUR/USD	Spot	1.1598	1.1613	1.1530	1.1413	1.1411	-0.0002
	USD/JPY	Spot	111.38	110.97	111.07	110.89	110.68	-0.21
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.791	6.834	6.833	6.989	6.982	-0.006
	Future	1Year(p.a.)	7.467	7.546	7.625	7.904	7.816	-0.088
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.656	3.664	3.611	3.731	3.810	+0.079
	USD	1Year(p.a.)	4.059	4.060	4.012	4.094	4.164	+0.070
株式	Bovespa指数		80,346.50	79,151.69	78,768.00	76,514.38	77,496.44	982.06
CDS	CDS Brazil 5y		217.32	218.64	225.26	237.01	251.93	+14.92
商品	CRB指数		194.495	193.039	192.428	191.695	190.299	-1.40

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
貿易収支(週次)	--	-\$277m	\$362m

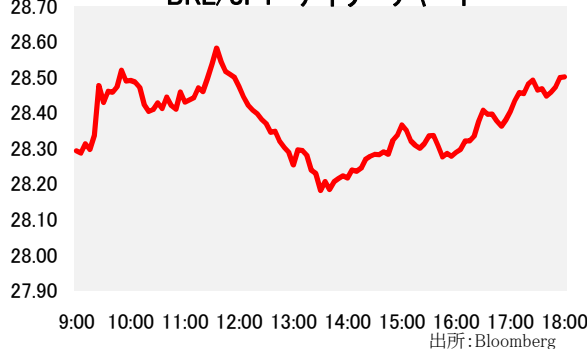
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

なし

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のレアルは日中高値3.8590で寄り付き、直後に3.91台まで急落した。トルコリラ急落をきっかけとしたリスク回避の動きが新興国通貨全般に広がったことが背景。午後に入って日中安値となる3.9270まで下落した。その後はやや下げ幅を縮小し、結局3.8840でクローズ。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.50%から1.49%へ下方修正され、2019年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2018年が4.11%から4.15%へ上方修正され、2019年が4.10%で据え置き。年末の為替レートは2018年、2019年ともに3.70で据え置かれた。
- 対米関係悪化により売りが強まっているトルコリラは本日も過去最安値を更新した。トルコ中銀は債務の支払準備率引き下げ等、金融システム下支えに向けた措置を発表。あらゆる選択肢を検討すると表明したが、リラの買戻しは一時的に留まった。また、影響が他の新興国通貨へ波及する中、アルゼンチンペソが最安値を更新。アルゼンチン中銀は緊急利上げを決定し、政策金利を40%から45%へ引き上げた。
- レアルが今年7月上旬以来の3.9台へ下落する中、伯政府は必要に応じて通貨・債券市場に介入する準備が整っていることを伯財務省関係者が語ったとロイターが報じた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。

出所: Bloomberg